

だれかの 笑顔のために



平野
愛己さん

ひらの あこ

優秀賞

築地中学校3年

みなさんは将来就きたい職業がありませんか。例えば、小さい頃に優しくしてもらったから保育士になりたい。絵を描くのが得意だからイラストレーターになりたい。他にも、スポーツ選手や美容師、学校の先生など人それぞれに興味のある職業があると思います。では将来、老人ホームや介護施設で働きたいと思ったことはありませんか。私は他に就きたい職業があったので、思ったことはありませんでした。また、「介護」と聞くと、食事や入浴、排泄、着替えの手伝いなど、生きる上で欠かせないことをお手伝いする仕事で、大変だというイメージをもってしまいます。ですが、あることがきっかけで、人と関わる職業で、こんなにかっこいい職業があるんだ、と感じました。私が母と将来について話していたときのことです。母は、「介護はいいよ、楽しいからほんとにおすすめ」と言ってきました。私の母は、介護施設で働いています。私は介護は大変で、楽しい仕事ではなさそうだなと思っていました。どこが楽しいのだろうと思い、母に尋ねました。すると母は、「笑顔が見られると嬉しくて仕事をやっていて楽しい。」と教えてくれました。仕事をする上で、人の笑顔がやる気に繋がっているのは、学生の私達でも体験できることだと思えます。例えば、学校行事での役割や生徒会の活動など。私は生徒会執行部に所属しています。生徒会活動では、生徒朝会や全校レクリエーションの企画・運営を行っています。企画をしている最中では、「どうしたら全校生徒が楽しめるようになるのか」を、実際にレクを行っている

ときには、「なにか困っている人はいないか」などを考えます。終わったときに一人でも多くの生徒が笑顔で教室に戻っていく姿を見ると、「やってよかったな」「他の仕事も頑張れるな」と思うことがあります。母の話聞いて、そんな経験を思い出しました。介護施設を使用しているお客さんの中には、体が不自由な人だけではなく、認知症を患っている人もいます。私が以前読んだ小説の中で、認知症の女性が出てきたのですが、夜中に家を飛び出したり、娘のことを他人だと勘違いして暴力を振るったりしていました。血の繋がっている家族でもお世話をするのが大変なのに、初めて会う人となると理解することにも時間がかかり、うまくいかないと思います。そんな大変な職業なのに、楽しさを感じられるのはとてもすごいことだと思います。また、母が仕事から帰ってきたとき、ずっといたおばあさんが亡くなってしまったと聞きました。私はそれを聞いたとき、「こんなにも死に近い仕事だったんだ。」と思いました。接した期間に関係なく、知っている人が亡くなってしまふのはつらいことだと思います。いつ悲しい出来事が起こってもおかしくない職業なのに、人の笑顔のために働いている介護士はとてもかっこいい職業だと思えました。

母の話聞き、興味を持った私は「介護士にはどんな人が向いているのだろうか」と考え、調べてみました。介護士の適正には、「人と接するのが好きな人、相手のことをよく考えられる人」の他に、「責任感をもって働ける、日々更新される知識・技術に対して熱心に勉強できる人」が挙げられています。これらはほとんどの職業でも言えることだと思います。ですが、「相手のことをよく考えられる」というのは介護士にとって一番重要ではないかと考えました。相手のことをよく考えるということは、あたり前のことですが、とても難しいことだと思います。そんな難しいことを常にしながら仕事をしている介護士は、やっぱりかっこいい職業だと思います。そんなかっこいい職業である介護士ですが、介護現場は現在、介護を必要とする高齢者の増加や介護職員の人手不足といった課題を抱えています。厚生労働省によると、2020年度の要介護・要支援認定者数は約682万人となり、前年度に比べ約2%増加しています。また、2023年度に必要な介護職員数は233万人に対し、2020年度時点では211万9千人と目標に達していません。私と同じように、一人でも多くの人が介護の現場に興味をもってもらえると嬉しいです。もちろん、今まで話した介護士という職業だけがカッコいい職業というわけではありません。どんな職でも、みんな「誰かのため」に働いていて、私はそんな姿をカッコいいと思います。私はまだ、「絶対にこの職業につきたい」と思っているものはありません。ですが、私の活動が誰かのためになり、その人が笑顔になってくれるようなカッコいい職業につきます。

(原文のまま掲載しています。)